

商工部門との連携による木材産業分野への就業促進の取組

～WEBイベントで木工団地の仕事の魅力を情報発信～

1 はじめに

遠野農林振興センター(以下「当センター」という。)では、木材産業分野への就業を促進するため、広域振興局の商工部門と連携し、遠野木材工業団地(以下「木工団地」という。)の仕事について、WEBイベントで情報発信を行ったので、その内容を紹介します。

<参考>今回のWEBイベント

県南エリアへの移住・定住促進を目的とした県南広域振興局経営企画部主催のWEBイベントで、「南いわて暮らしセミナー」として10月30日に開催。

都市部等に在住し、移住を考えている青壮年層の方と、県南広域振興局及び県南局管内8市町等の各会場をオンラインで結び、企業紹介等を実施したものを。

2 取組の内容

管内の木材産業分野への就業促進について、当センターから県南広域振興局経営企画部に相談したところ、当WEBイベントへの参加の提案がありました。

そこで、当センターでは、木工団地内の木材関係事業者に対して、個別に参加の働きかけを行い、遠野木材加工事業協同組合とノッチ・アート遠野協同組合から出演の同意を得ることができました。

その後、県南広域振興局経営企画部、遠野市、出演2組合と当センターで打合せを重ね、「木材関係の知識のない参加者に対して、両組合の

仕事をどのように伝えるか」、「魅力的な職場とってもらうためには、どのようにアピールすればよいか」などを綿密に検討し、リハーサルを行いました。

そして、迎えたセミナー当日、2組合の出演者は、持ち時間の20分間をフルに使い、仕事の内容や職場の様子、求人の内容など、リハーサルどおり説明することができました。



ノートPCに向かって説明する2組合の職員

3 おわりに

今回のWEBイベントには、首都圏を中心に20代から60代の20組、計22名の参加がありました。

イベント参加者の中から、将来、木工団地内の事業者等に就業する方が出てくることを期待しています。

当管内の木材産業分野への就業支援の取組は、今回が初めてでしたが、今後とも機会を捉えて支援に取り組んでいきたいと考えています。